

自然が奏でる子守唄の里

# 五木

いつき

## 一緒に暮らそう人吉球磨で

むらのできごと

### 五木の子守唄祭

～色鮮やかに萌える紅葉と穏やかな秋晴れのもと開催～

2017.12月号



私たちが人吉球磨地域に  
移住して来ました！

# 一緒に暮らそう 人吉球磨で

この特集は、人吉市・錦町・多良木町・湯前町・水上村・相良村・五木村・山江村・球磨村・あさぎり町の広報担当者が協力して作りました。

人口減少や都市部への人口流出が叫ばれる一方で、近年、田舎暮らしに魅力を感じて地方へ移住を希望する人が増加。人吉球磨地域にも、この地に魅力を感じた人がたくさん移り住み始めています。人吉球磨地域の魅力は何なのか？ 移住者を受け入れるために必要なことは何なのか？ 皆さん一緒に考えてみませんか？

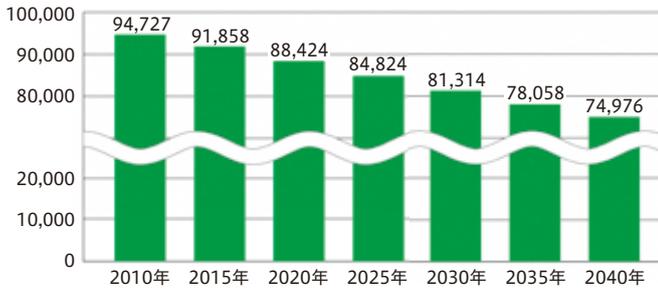
# 地方に吹く新しい風

地方で進む少子高齢化。自治体は人口減少を食い止めるために、増えてきた働く世代の移住希望者を呼び込もうとしています。

## 加速する地方の人口減少

日本では現在、地方の人口流出や過疎化が深刻になっています。都市部には仕事があふれているため、地方に住む多くの若者が仕事を求めて移り住み、人口の流出がさらに加速。人吉球磨10市町村の合計人口は2010年時点で約9万5千人ですが、30年間で約2万人が減少すると予想されています。一方人口が集中する都市部では、待機児童問題や育児休業後の復職などの問題が発生しています。

人吉球磨10市町村合計将来推計人口(人)  
国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月推計



## 地方への人の流れをつくる

国は、都市部の人口集中を改善し、地方の人口減少に歯止めをかけようと、さまざまなことに取り組んでいます。

総務省は、移住に関する情報の提供や相談支援窓口「移住・交流情報ガーデン」を東京駅近くに開設。ほかにもインターネットで全国の仕事や住まいなどの情報を検索できるサイト「全国移住ナビ」を開発しています。

地方が新たな担い手として都市部の人材を受け入れる「地域おこし協力隊」も定着。全国で約5千人の隊員が活動し、人吉球磨地域ほとんどの市町村で地域の盛り上げ役として活躍しています。

## 移住定住のための取り組み

近年、都市部への人口流出とは逆に、自然の豊かさや子育て環境、移住先でしかできない仕事など、さまざまな理由で地方での暮らしを望む人が増えています。各自治体は、移住者を呼び込もうと、住民サービスの充実に取り組んでいます。

## 人吉球磨地域の各市町村では、子どもの医療費や学校給食費の助成、出生祝い金などの子育て支援サービスを充実。そのほかにも、住宅リフォーム費用の補助や農林・商工業の担い手への補助など、住まいや仕事への支援も実施しています。移住定住への関心が高まってきたここ数年では、各市町村のホームページで移住定住情報の発信や移住専用サイトの開設、空きバンク制度などを整備。移住体験ツアーや、都市部の人を対象とした移住相談会を東京・大阪・福岡などで開催しています。

人吉球磨地域の各市町村では、子どもの医療費や学校給食費の助成、出生祝い金などの子育て支援サービスを充実。そのほかにも、住宅リフォーム費用の補助や農林・商工業の担い手への補助など、住まいや仕事への支援も実施しています。移住定住への関心が高まってきたここ数年では、各市町村のホームページで移住定住情報の発信や移住専用サイトの開設、空きバンク制度などを整備。移住体験ツアーや、都市部の人を対象とした移住相談会を東京・大阪・福岡などで開催しています。



▶移住体験ツアーで空き家を見学する参加者(球磨村)

## INTERVIEW 東京都内で移住希望者を支援する池田相談員に熊本の移住定住の現状を聞きました。

## 働き盛りの移住希望者が増

東京都にある全国の移住定住情報が集まる「ふるさと回帰支援センター」に熊本県の移住相談窓口を開設しています。以前は退職した団塊世代の利用者が多かったのですが、今は働き盛りの30〜40代の人が増え、40代以下の方が利用者の約7割を占めています。

相談は月約40件。移住希望者は、住まいと同時に仕事の事も相談されます。職は重要で、その地の特色ある仕事や、やりがいを感じる仕事が求められます。

人生の転換期になる移住相談は人生相談と同じ。私も熊本県出身として地元の良いさを一人でも多くの人に伝え、移住してもらえよう支援していきます。



くまもと移住定住支援センター  
移住相談員 池田真麻さん

# 人吉球磨に魅せられて

各方面で活躍する移住者の皆さん。なぜ人吉球磨を選んだのか？  
彼らだからこそ知る地域の魅力がありました。



1

## 球磨焼酎の魅力伝える使命



「移住をするならこの地  
しかできない仕事をした  
い」と、人吉球磨地域の  
伝統産業である球磨焼酎  
の杜氏となつた油井さん。  
以前勤めていた服飾関係  
の仕事で人吉市に転職。  
その時に趣味のロードバ  
イクサイクリングや釣りを  
見たことが移住の転機で  
す。

「仕事の前後に川を眺め  
行くほど川が好き。地元  
の人からヤマメが釣れる  
と聞き、実際に釣って一  
気ののめり込み、この地  
に移住しようと思いま  
した」と当時を振り返り  
ます。



▲米を蒸して球磨焼酎の仕込みを行う油井さん

## 油井 聡さん(人吉市) profile

昭和49年生まれ。静岡  
県浜松市出身。平成10  
年に移住。現在、球磨  
焼酎の蔵元・深野酒造  
株式会社で杜氏として  
球磨焼酎の製造に携  
わっている。妻と小学  
6年生の息子と3人暮  
らし。



「移住をするならこの地  
しかできない仕事をした  
い」と、子ども会など  
地域のコミュニティにも  
積極的に参加していま  
す。

「球磨焼酎は長い歴史  
があり、同一地域に集  
約されているというの  
は全国的にも珍しいで  
す」と油井さん。杜氏  
の仕事は、毎回仕込み  
が始まると緊張し、焼  
酎が出来上がるたび  
に感動するそうです。

「自分のようなよそ者  
を受け入れて、杜氏と  
いう大事な仕事をさ  
せてもらえるのは本  
当にありがたい。よそ  
から来た人間だから  
分かる球磨焼酎の魅  
力はどう伝えていく  
か。それが自分の使  
命なのかなと思っています」

## 自然が子どもたちの大きな公園



100年以上続く梨農  
家の毎床家。長年梨園  
を経営していた祖父  
が高齢のため作業が  
困難になったことや、  
近所の同級生が亡く  
なった父の跡を継い  
で就農したこともあり、  
28歳で家族と一緒  
にUターン。毎床さん  
は梨農家を継ぎ、現  
在、父母と3人で4代  
目として梨園を営ん  
でいます。

球磨村にUターンし  
たとき地域の人は大  
歓迎。益城町出身の  
妻・由希さんは「お  
店や病院までは家か  
ら少し遠いですが、  
自然が豊かで、近所  
さんも良い人たちば  
かり。子育て環境も  
すばらしいです」と  
話します。「祖父か  
ら、梨は子どもと同  
じように大切に育て  
ないと言われまし  
た。実際、子どもよ  
り梨の木と接するほ  
うが長いんです」と  
笑顔で話す毎床さん  
。



▲共同作業で梨の箱詰めをする毎床さん夫婦

## 毎床 智和さん家族 (球磨村) profile

昭和59年生まれ。地  
元と熊本市内で9年  
間仕事をした後、家  
業の梨園を継ぎ決意  
し球磨村にUターン。  
妻と3人の娘、両親、  
祖母の4世代で暮ら  
し梨園を営んでいる。



大切に育てないと言  
われました。実際、  
子どもより梨の木と  
接するほうが長い  
んです」と笑顔で話  
す毎床さん。

しかし、子どもたち  
にとって梨園は絶対  
の遊び場。自然の公  
園である梨園を元  
気に駆け巡っています。

「先代が100年以上  
育てた木を手入れ  
できることがうれ  
しい。今ある木と自  
分が植えた木が100  
年以上育つてくれ  
るように頑張ります  
」と力強く話します。  
今後の夢は、2020  
年の東京オリンピック  
で一勝地梨を世界に  
広めること。家族や  
地域の人たちに支  
えられながら、大  
きな夢に向かって  
歩み続けます。

- 1 焼酎蔵と油井さん
- 2 梨の木の生育状況を説明する毎床さん
- 3 菜原さんが経営するカフェのピザ
- 4 青々とした葉にピンクの花が咲く瓦川さん夫婦が育てた藍



▲菜原さんが店の窯で本格的なピザを焼く

くわはら けんいち  
**菜原 県一さん夫婦**  
(錦町)  
**profile**

昭和50年生まれ。球磨郡錦町出身。東京都内でバー経営などの経験を経て家族でUターン。現在、錦町で妻の美穂子さんとカフェを経営。娘3人と両親の7人家族。



故郷で農業をしながら「Farmer's Cafe SAKURU」を経営する菜原さんと妻の美穂子さん。店の自慢は、新鮮なトマトやバジルなど自家製の野菜をたっぷり使った本格的な窯焼きピザやパスタ。その味を求めて郡市内外から多くの人が訪れています。

東京都内でバーを営んでいた菜原さん。7年前、子どもが生まれたのを機に、青森県出身の美穂子さんと子ども3人で帰郷。3年前に念願の店をオープンさせました。

美穂子さんは「水が良いので食べ物おいしい。お米もおいしく炊けます」と地域の印象を語ります。「最初は、『何

か変わったことをし始めた』と言われて悲しかったこともありましたが、子どもが豊かな自然で伸び伸び育ち、都会ではできない体験ができています。生活は車がないと不便ですが、幸せですよ」と2人は話します。

2人の目標は自家製野菜のできたてピザをインターネットで販売すること。菜原さんは「できたてのピザを真空パックで冷凍することに挑戦しています。まずは地元のイベントに出したいと思っています。お店に食べに来ることができない人にもおいしい食材を広めたいです」と笑顔で話しました。

おいしい食材を広めたい



▲藍のたたき・生葉染めを体験した皆さんと

かわらがわ あきひろ  
**瓦川 陽大さん家族**  
(水上村)  
**profile**

昭和56年生まれ。神奈川県出身。山形県出身の妻の佳奈さんと子ども2人の4人家族。平成27年に水上村に家族で移住。主に藍農家として藍染めに力を入れている。



「水がきれい」という印象の九州で移住先を探していた瓦川さん家族。子育てに良い環境や農業をする畑があることなどの理想を求めて、旅をしながら住むところを探していました。「知り合いに水上村を紹介してもらい、現地へ足を運んですぐほれ込みました。移住して3年目ですが、地域の人も優しく何より水がおいしいです」と移住したきっかけを話します。

瓦川さんは、祖母が住む徳島県で「阿波藍」などブランド化された藍染め文化に触れ、その後、旅先のタイで染めをしていた妻の佳奈さんに出会います。移住後、夫

婦で本藍染めを本格的に開始。現在、藍作を主に農業をし、村の体験イベントでは草木染めの講師として活躍中。「Organic Blue Farm 和水家」として村内外のイベントにも出店しています。「今の家を工房化して、地元の人たちに藍の魅力をもっと知ってもらいたいです。ゆくゆくは、地方ブランド化も目指します」と目を輝かせます。

きれいな水や自然の豊かさが人吉球磨の魅力だそう。「田舎暮らしは不便さもあるけど、なぜか心は満たされます。この地にはもつと人を呼び込めるはず。藍で人吉球磨の活性化に貢献したいです」

心満たされる地で藍染めの魅力を発信



# 築きあう“きずな”

移り住んできた人たちが長くこの地域で暮らすためには、何が  
必要なのでしょうか？ 移住者と地域の人に話を聞きました。

## 山江村の頼れる案内人

山江村で暮らす田村四郎さん(81)は、移住してきた人に地域の決まりごとなどを教え、地域に早くなじめるように、自宅周辺の約20世帯の世話役を担っています。世話役を始めたのは、田村さんが40年ほど前に、別の地区から今の場所に引っ越してきたとき、地域のことから苦勞したことがきっかけ。

こうした自身の経験から、移住者が引っ越してくると、田村さんはすぐさま移住者宅を訪ねます。区長をはじめ地区内一軒一軒へのあいさつまわりや行事の紹介、ごみ出しのルールなどを教え、集まりを設けて地元住民に新しい仲間を紹介しています。「移住してくる人は地域になじめるか、地元の人もどんな人が来るのか不安を抱えています。どちらにも安心してほしいんです」と活動の背景を話します。

## 移住者からの信頼

田村さんの活動を耳にし、移住者から相談に来ることもあります。鹿児島県から引っ

越してきた宮原亜紀子さん(39)もその一人です。「春・秋の観音開帳時の接待のやり方など分からないことが多いので、そのたびに相談に乗ってもらいました。田村さんを通じて地域になじめたと思います」と感謝と信頼を寄せています。

## 頼を合わせる雰囲気づくり

「地元の人から、移住者に『どうしましたか？』と一声掛けることが大切です。みんなで地域文化を守り、子どもを見守る地域にしたい。移住者は、地域の人と積極的に顔を合わせてほしい。その機会を設けて、無理せず出てきてもらう雰囲気づくりを心掛けています」と、田村さんは地域づくり成功の秘訣を話します。

この心掛けが住民の意識に変化をもたらし、月に一度の美化活動には、呼び掛けをしなくても自然と人が集まります。「この地域づくりの雰囲気は村全体に広めたいです」。田村さんは今後も地域と移住者のつなぎ役として積極的な活動していこうと、これからの目標を語りました。

## 住民と移住者の本音

行事にもっと参加してほしい  
分からないことがあれば気軽に声を掛けてほしい

住民

葬式や彼岸の接待など、慣習やしきたりを理解するまでが大変

移住者



1 移住者の気持ちを知り、世話役を務める田村さん 2 持ち寄った料理を囲んで地域行事の打ち合わせも和やかに 3 積極的に地域に入ることの大切さを語る宮原さん 4 相良三十三観音めぐりの参拝者を笑顔でおもてなし

都会にはないものが  
人吉球磨にはある

どこの地方でも年々人口減少している中、地域をどう維持していくかが課題となつていきます。地域を維持していくために一番必要なのは、「人」です。人がいればその地に仕事や生活が生まれ、地域の魅力を受け継いでいくことができます。

田舎暮らしは都会に比べて不便さがあるのも事実です。しかし、豊かな自然が織りなすおいしい水や食べ物、伸び伸びとした子育て環境、心のゆとりは田舎でしか感じる事ができません。それに魅了され、人吉球磨地域にもここ数年で移住者が少しずつ増えてきています。家業を継ぐためUターンした人、伝統や環境を生かした仕事をするために移住した人など、ここにしかないもの、ここでしかできないものが人吉球磨地域にはあります。

声を掛け合える仲間と一稀に  
ふるさとで暮らす

移住後スムーズに地域に溶け込めるのはまれで、ほとんどの人が地域の習慣に慣れるまで苦労しています。一方で、地域の人たちも移住者とどう接したらいいのか分からず、もどかしい気持ちを抱えています。

お互いがうまく付き合っていくためには、地域は移住者を受け入れ、同じ場所に住む仲間として接すること。移住者は、地域の集まりやイベントに積極的に参加すること。その中で、声を掛け合うことが大切です。あいさつや何気ない会話で人を知り、地域を知ること、そこが住みよい場所になっていきます。

人吉球磨地域の魅力を分かってくれる人たちと一緒に暮らしていくことで、私たちの大切なふるさとと未来を築いていけるのではないのでしょうか。



湯前町の地域おこし協力隊として活動しながら、湯前少年柔道クラブで指導している兵庫県出身の安井佳奈さん（前列中央）。地元住民に囲まれ笑顔を見せる安井さんは、持ち前の礼儀正しさと笑顔で住民からの信頼が厚い



▲福連木の子守唄披露

▲子守唄保存会の歌と踊り

▲そがみまこさんと DOYO組

▲五木の子守唄披露

▲五木の子守唄大会

▲五木東小学校合唱

▲金沢明子さん歌謡ショー

# 五木の子守唄祭

色鮮やかに萌える紅葉と穏やかな秋晴れのもと開催

第29回五木の子守唄祭  
が秋の紅葉時期の11月11日、12日の両日、五木源パークで開催され、2日間で、約8千人の人で賑わいました。

初日は、保育所のおゆうぎや小中学校による子守唄、郷土芸能・文化芸能の披露、福連木の子守唄、木遣り、芋煮会などが行われました。

2日目は、梶原太鼓踊りや土搗き実演、そがみまこ & DOYO組、金沢明子歌謡ショー、葦北鉄砲隊演武、餅投げなどが行われました。また芝生広場では、五木源住宅モデルハウスの展示やゾーブボール、凧揚げ、ブーメラン、木工づくり体験などに多くの人に参加し、大盛況となった2日間でした。



▲五木中学校合唱



▲中央保育所おゆうぎ



▲葦北鉄砲隊演武



▲芋煮会



▼高野棒踊り



▲カラオケ大会



▲会場内での談笑



田口太鼓踊り▶  
▼下谷太鼓踊り



▲梶原太鼓踊り

「五木村歴史文化交流館」

# 「五木谷の秋まつり」 2017」を開催

11月4日(土)に五木村歴史文化交流館で、秋のイベント「五木谷の秋まつり2017」が開催されました。

昼の部では、屋外施設の炭窯での「炭出し体験」や「五右衛門風呂体験」、レーザー加工機による「木工体験」、「餅つき体験」など多彩な体験コーナーを設け、村内、村外からのお客様に体験していただきました。子どもたちもなかなか体験できない「餅つき」に挑戦していました。

また夜の部では、かがり火の幻想的な照明が灯り、桂竹丸さんの落語やシャンソン、ジャズ、薩摩琵琶などの音楽に訪れた皆さんが聞き入っていました。



①伝統芸能の披露(下谷) ②ジャズの演奏 ③薪割体験 ④炭窯で出来上がった炭 ⑤桂竹丸さんによる落語 ⑥シャンソンの披露 ⑦餅つき体験 ⑧手作りの木工製品の販売 ⑨薩摩琵琶の演奏



～専門家を招いてのフットパスイベント第2弾!～

## 「フットパス体験会&ガイド・おもてなし研修」を開催

フットパス先進地である美里町から専門の講師を招いてのフットパス体験会等が、10月22日から23日にかけて開催されました。

初日に開催された体験会では、上平野に向かうコース歩きが行われました。村内外から21名が参加し、平野のお堂に到着すると、平野地区の住民などが用意した、まんじゅうやお菓子、漬物などのおもてなしに参加者は大喜びでした。また夜からは伝承館で「ガイド・おもてなし研修」のセミナーが開催されました。

翌日は「フットパスコースづくり」として、宮園地区の「こやし」と呼ばれる果樹園や畑のあるコースを歩いて、コース整備に向けた確認が行われました。今後、五木村グリーンツーリズム研究会が主体となり、フットパスが村内にいつそう定着・浸透していくよう、引き続き取り組んでいきます。



お堂前で行われたフットパス説明



平野のお堂で振る舞われたおもてなし

## ごきげん 五木源住宅のPR活動

11月11日～12日五木の子守唄祭会場で、五木源住宅のPR活動を行いました。

五木村では森林資源が伐期を迎える中、「森林で自立する村づくり」に向けて、市場流通に左右されない流通体制を確立し、森林による所得の向上と地域活性化を図る必要があります。

平成26年度から取り組みを始めた五木産材普及啓発事業では、五木村の木を葉枯らし天然乾燥後、製材所に運び、住宅用木材として加工・販売に取り組んできました。

今回は、村民の皆様にもぜひ身近に五木源住宅を見てもらうため、五木産の葉枯らし天然乾燥材のメリットをPRしました。見学者からは、「木の家はいいね」等のコメントや「建築費用はいくらか」等の質問があり、木造住宅への関心の高さが感じられました。

住宅PRと併せて、「五木村ものづくり工房」による端材を活用した木工体験(花瓶作り)も行われ、多くの方に体験いただきました。



展示された五木源住宅6坪モデル住宅



木工体験うまくできるかな？

## 「五木のわっかモン 座談会」を開催

10月26日に宮園のお宿で「五木のわっかモン座談会」が開催されました。

当日は、村内在住の20代から30代の若者や関係者を含め29名の参加がありました。始めに、5つのテーマ（①住まい②仕事③人付き合い④行政サービス⑤村のイメージ）に沿って「住みたくなる要因」「住みたくなる要因」について意見を出し合い、その後、4グループに分かれ「若者が住みたくなる」ような提案をグループごとに発表しました。座談会終了後は、「若者が集まる機会が少ないので、職種や地区を越えたこのような集まりが楽しかった」などの声も聞かれました。



意見を出し合う参加者たち

## ふくれぎ 「福連木子守唄&童謡まつり2017 in 天草」に五木の子守唄保存会が出演！

11月5日福連木体育館（天草市）で「福連木子守唄&童謡まつり2017 in 天草」が開催されました。今年、4月21日に天草市との交流連携に関する協定を結んだことで、本村から五木の子守唄保存会の淀川さんが出演されました。また五木の子守唄祭には、福連木の子守唄保存会にご出演いただきました。今後も「子守唄」を中心とした文化交流を進めていきます。



福連木で五木の子守唄を披露する淀川さん

## 球磨郡老人クラブ連合会 文化祭

球磨郡老人クラブ連合会主催の文化祭が11月16日、あさぎり町の須恵文化ホールで開催されました。

会場内には、各町村から出品された会員手作りの工芸品などが展示されており、ステージでは踊りや歌が披露される中、五木村からはエイサー愛好会の皆さんが堂々と踊られました。終了後に響いた会場の暖かい拍手に、皆さん安どの表情を浮かべていました。五木村老人クラブエイサー愛好会では、一緒に踊る仲間を募集しています。健康づくりのために一緒にエイサーを踊りましょう。(問い合わせ先:五木村社会福祉協議会)



文化祭に参加したエイサー愛好会の皆さん

## 河川環境協議会が 美化作業

五木地域河川環境協議会による河川美化作業が10月26日に実施されました。この美化作業は、川辺川の豊かな河川環境を目指すことを目的に、村、国交省、県、球磨川漁協、五木漁協、九州電力、JNCの7社によって2年前に設立された協議会が毎年実施しており、今年で3回目となるこの日は、溝の口と五木源パーク2か所の河川敷から可燃・不燃ごみ合わせて約300キロが回収されました。



河川のごみを拾う参加者たち

## 第5回「子守唄の里五木」 グラウンドゴルフ大会



11月1日、五木源パーク芝生広場を会場に、第5回子守唄の里グラウンドゴルフ大会が開催されました。

当日は、球磨管内を中心に166人で競技が行われました。コースは4つに分かれ、個人戦の最小打数で競われ、参加者のうち26人がホールインワンを出しました。

村内 選手の 成績	Cコート		ホールインワン賞	
	2位	山田 シナ子	38打(白岩戸)	山田 シナ子
4位	木野 辰喜	41打(頭地)	竹村 智	1回(松尾野)
※敬称略			下内 キヨカ	1回(山口)
			岩崎 己智男	1回(頭地)



いきいきとプレーする選手の皆さん

## 秋季火災予防運動 秋季防火パレード

11月9日、五木村消防団と人吉下球磨消防組合北分署合同の防火パレードが行われました。国道・県道沿いを中心に防火広報車による火災予防の普及啓発が実施されました。

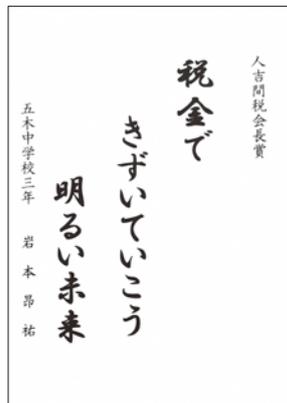
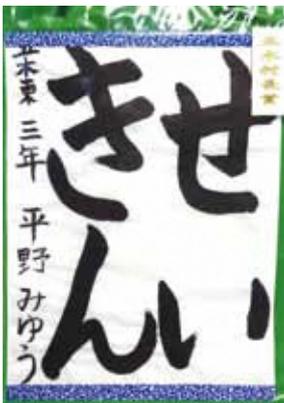
皆さん一人一人が、火災予防に取り組み、五木村から1件の火災も起こさないようにしましょう。



国道沿い(頭地)で防火広報

## 税に関する作品展

人吉球磨地区租税教育推進協議会が主催する「税に関する作品」の習字の部で、五木東小学校3年の平野美優さんの作品が「五木村長賞」に、標語の部では、五木中学校3年の岩本昂祐さんの作品が「人吉間税会長賞」に輝きました。入賞作品については、イスミ本店(人吉市)1階で11月11日から17日まで展示されました。



入賞者の作品

## 五木村中央保育所で 人権教室を開催

人吉人権擁護委員協議会(辻篤子会長)が主催する人権教室が10月20日に保育所で開催され、職員や園児、保護者が参加しました。

「思いやりの心を育てる」と題して、DVD鑑賞や人形劇を見ながら学習し、差別のない優しい社会づくりについて、改めて考えさせられる1日となりました。



園児と人権擁護委員の皆さん



## 12月のげんどう会の日程表

場所	瀬 目		三 浦		小 鶴		宮 園	
期日	1日(金)		12日(火)		15日(金)		19日(火)	
	22日(金)							
時間 (午前)	受付	9:30	受付	9:30	受付	9:30	受付	9:30
	開始	10:00	開始	10:00	開始	10:00	開始	10:00
場所	頭 地		下 梶 原		平 瀬		平 沢 津	
期日	1日(金)		12日(火)		15日(金)		19日(火)	
	22日(金)							
時間 (午後)	受付	1:15	受付	1:15	受付	1:15	受付	1:15
	開始	1:45	開始	1:45	開始	1:45	開始	1:45

## 12月の脳いきいき教室の日程表

期日	6日(水)、13日(水)、20日(水)	
場 所	保健センター	宮園交流館
時 間	受付(午前) 9:30	受付(午後) 1:00
	開始(午前) 10:00	開始(午後) 1:30

「最近、物忘れが多くなった」「将来認知症にならないか心配」という方は、パズルやトランプ等で楽しみながら認知症の予防をしてみませんか？



■「げんどう会」や「脳いきいき教室」の問い合わせ先

保健福祉課 電話：37-2214 IP電話：2214

## 健診のお知らせ

期 日	検 診	受付時間(午後)	場 所	対象者
12月1日(金) 1月12日(金)	乳幼児健診	1:30 2:00	保健センター	3・6・10ヶ月、1歳2ヶ月 1歳6ヶ月、3・4・5歳児

※対象者が少ないときは健診を中止する場合があります。その際は対象者の方に個別に日程を通知します。

飼  
い  
犬  
は  
必  
ず  
つ  
な  
ぎ  
ま  
し  
よ  
う  
!

# ♡ こころの健康相談

## 熊本県人吉保健所 精神保健相談

専門の医師が相談を受けます。  
専門医の受診が難しい方、ぜひ、この機会を利用してみませんか？

- 12月14日(木)
  - 12月22日(金)
- 場所：人吉保健所

※完全予約制です。事前に保健所担当までご連絡ください。

**問い合わせ先** 人吉保健所保健予防課

電話：22-5289

## 五木村 こころの健康相談

臨床心理士が相談を受けます。

- 相談内容：  
物忘れ、人間関係の悩みや病気の対応など

- 相談日：  
平成30年1月10日(水)  
3月14日(水)

※秘密は固く守られます。  
※希望があれば、ご自宅に伺うこともできます。

**問い合わせ先** 保健福祉課

電話：37-2214 IP電話：2214



坂田臨床心理士

相談は、  
無料です

村税（保険料）の納付は、口座振替が便利です

## HN health news ノロウイルスに注意しましょう!!

早いもので今年もあと1ヶ月になりました。この季節になると、ノロウイルスが流行し始めます。ノロウイルスは11月頃から患者数が増え始め、12月から1月にかけて最大になります。今、ノロウイルスの予防方法を確認して、健康に年末・年始を過ごすようにしましょう。

### ノロウイルスの症状と治療

ノロウイルスは手指や食品などを介して口から入り込み、腸の中で増殖することで、体に入ってから1~2日後におう吐や下痢、腹痛などの症状が出ます。健康な方は軽症で回復しますが、子どもやお年寄りなどでは重症化したり、吐物を誤って気道に詰まらせて死亡したりすることがあります。

ノロウイルスについてはワクチンがなく、治療法は輸液などの対症療法に限られます。（おう吐や下痢等の症状に対して服薬や治療を行います。直接ウイルスを無くす薬等はありません）

### ノロウイルスの感染経路

- ノロウイルスはいくつかの感染経路がありますが、
- ① ノロウイルスを持っている人の咳やくしゃみなどからの感染
  - ② ノロウイルスを持っている人のおう吐物や便とぶつからの感染  
（処置等でウイルスが付いた手を介する場合や風など舞い上がったウイルスを吸い込む場合）
  - ③ ノロウイルスを持った人が扱った食事や食材などを介しての感染
  - ④ 汚染された二枚貝を生や十分加熱しないで接種することによる感染
- が主です。ノロウイルスは少量でも発症しやすいウイルスです。



### ノロウイルスの予防方法

ノロウイルスの感染・発症を予防するためには、手洗いや消毒が必要です。食事の前やトイレの後には丁寧に手洗いを行ってください。また、近くにノロウイルスに感染した人がいる場合には便やおう吐物は適切に処理することが必要です。消毒はアルコールが効きません。次亜塩素酸ナトリウムで行いましょう。

もし心配なことや分からないことがあれば、役場や医療機関にお尋ねください。



## 平成29年12月年末休日当番医のお知らせ

当番医が変更となっている場合があります。必ず電話をして受診してください。

日付	曜日	医療機関	電話	小児科医療機関	電話
29日	金	深水内科医院	38-3221	たかはし小児科 内科医院	24-2222
		こんどう整形外科	45-6555		
		酒瀬川内科	38-0050		
		仁田畑クリニック	42-1123		
		権頭医院	36-0008		
		小川整形外科医院	38-3455		
		そのだ医院	43-2063		
		古城クリニック	44-0321		
		増田耳鼻咽喉科クリニック	45-8001		
		東病院	45-5711		
		高田内科医院	38-3677		
		宮原医院	42-2082		
		上球磨クリニック	42-5868		
		岩井クリニック	49-2181		
		ほづみ皮膚科医療	26-5300		
犬童内科胃腸科医院※	45-1125				
緒方医院※	35-0131				
犬童耳鼻咽喉科※	43-0777				
30日	土	深水内科医院	38-3221	やまむら医院	45-0005
		東病院	45-5711		
		緒方医院	35-0131		
		宮原医院※	42-2082		
		酒瀬川内科※	38-0050		
		そのだ医院※	43-2063		
		こんどう整形外科※	45-6555		
		小川整形外科医院※	38-3455		
権頭医院※	36-0008				
増田耳鼻咽喉科クリニック※	45-8001				
31日	日	東病院	45-5711	増田クリニック小児科	22-3570

飼い犬は必ずつなぎましよう！

※午前中診療医療機関

人吉医師会の分も分かり次第掲載します。

## 消費者行政に関する村長の意思表示

五木村では、村民の皆様の安全・安心な消費生活を確保するために、人吉市消費生活センターとの広域連携を図り相談体制を充実・強化してまいります。また、悪質商法を排除し、被害に遭わないよう、高齢者や全世帯に啓発活動を行うなど、今後も消費者行政を継続的に取り組んでまいります。

五木村長 和田拓也

# 平成30年1月休日当番医のお知らせ

当番医が変更となっている場合があります。必ず電話をして受診してください。

日付	曜日	医療機関	電話	小児科医療機関	電話
1日	月祝	こんどう整形外科	45-6555	公立多良木病院小児科	42-2560
		ほづみ皮膚科医院	26-5300		
2日	火	古城クリニック	44-0321	たかはし小児科内科医院	24-2222
		小川整形外科医院	38-3455		
3日	水	そのだ医院	43-2063	人吉医療センター小児科	22-2191
		脳神経外科小林クリニック	38-5670		
		緒方医院	35-0131		
7日	日	宮原医院	42-2082	やまむら医院	45-0005
		緒方医院	35-0131		
8日	月祝	渡辺医院	42-2541	増田クリニック小児科	22-3570
		たかの眼科	47-2550		
14日	日	上球磨クリニック	42-5868	たかはし小児科内科医院	24-2222
		岩井クリニック	49-2181		
21日	日	横山医院	42-2132	やまむら医院	45-0005
		権頭医院	36-0008		
28日	日	仁田畑クリニック	42-1123	増田クリニック小児科	22-3570
		高田内科医院	38-3677		

※今回は球磨郡医師会のみ掲載しています。人吉医師会の分も分かり次第掲載します。

村税（保険料）の納付は、口座振替が便利です

# 国民健康保険医療費の状況

平成29年  
9月診療分

	件数	保険者（五木村）負担額	前月比
入院	11	3,454,762円	+ 104.72%
外来	318	3,862,845円	- 8.48%
調剤	133	1,089,560円	- 44.93%
食事・生活療養費	11	156,064円	+ 54.19%
その他療養費	6	22,926円	- 142.60%
合計	479	8,586,157円	+ 7.36%

1人あたり保険者負担額(月額)	31,919円	前月比
9月末国保被保険者数	269人	+ 7.36%



今月の医療費は前月と比べ、増加しています。特に入院費の増加が大きいです。ここ数ヶ月、入院費の増減が激しくなっています。これからどんどん寒くなり、体調が崩れる季節になります。日頃から体調管理に、気を付けましょう。

# 八代年金事務所・年金出張相談



## 12月の日程

年金に関する相談を行います。  
相談会場の待ち時間が長時間に及ぶことが予想されます。  
必ず予約をしてください。

場 所	期 日	時 間
人吉市東西コミュニティセンター	4日(月)・11日(月) 18日(月)・25日(月)	午前9時～ 午後5時
錦町社会福祉協議会 (温泉センター)	13日(水)・27日(水)	
多良木町役場	6日(水)・20日(水)	
■問い合わせ・予約先 八代年金事務所 お客様相談室 住民税務課		電話 0965-35-6123 電話 37-2213 IP電話 2214

## ～国民年金保険料の免除期間・ 納付猶予期間がある方へ～

国民年金保険料の免除(全額免除・一部免除・法定免除)や納付猶予、学生納付特例の承認を受けられた期間がある場合、保険料を全額納めた方と比べ、老齢基礎年金(65歳から受けられる年金)の受け取り額が少なくなります。

将来受け取る老齢基礎年金を増やすために、免除等の期間の保険料については、10年以内であれば遡って納める(追納)ことができます。

ただし、免除等の承認を受けられた期間の翌年度から起算して3年度目以降の追納の場合、当時の保険料額に一定の加算額が上乗せされます。

追納は、古い月のものから納付することとなりますが、次の点にご注意ください。

◎一部免除を受けた期間は、納付すべき保険料が納付されていなければ追納はできません。

◎「法定免除・申請免除期間」が「納付猶予・学生納付特例期間」より先に経過した月分である場合は、どちらを優先して納めるか本人が選択できます。

※追納を希望される方、又はご相談については、  
お近くの年金事務所までお願いします。



飼  
い  
犬  
は  
必  
ず  
つ  
な  
ぎ  
ま  
し  
よ  
う  
!

# 平成30年1月 診療所担当医師予定表

(電話番号 37-2008 I P電話 2008) ※都合により担当医師が変更となる場合もあります。

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
				(総合診療科) 南	(血液内科) 樺田	
7	8	9	10	11	12	13
	成人の日	(外科) 外科Dr		(総合診療科) 南	(代謝内分泌内科) 大磯	
14	15	16	17	18	19	20
	(総合診療科) 南	(外科) 外科Dr		(総合診療科) 南	(血液内科) 樺田	
21	22	23	24	25	26	27
	(総合診療科) 南	(外科) 外科Dr		(総合診療科) 南	(代謝内分泌内科) 大磯	
28	29	30	31			
	(総合診療科) 南	(外科) 外科Dr				

人吉医療センター 予約センター 月曜日～金曜日 午前9時～午後5時

予約時(電話番号) 22-1900 救急時(電話番号) 22-2191

村税(保険料)の納付は、口座振替が便利です

## お知らせ

児童扶養手当受給中の方  
を対象とした就職支援の  
お知らせ

ハローワーク球磨では、児童扶養手当受給中(申請・相談中の方も含む)のお母さんやお父さんのお仕事探しを支援しています。

### ▼相談例

- ・就職・転職したいけどどんな活動をしたらいいのかわからない
- ・就職活動一人で不安だなあ・・・
- ・履歴書の書き方が分からない・・・

### ▼支援内容

- ・専門のスタッフによるきめ細やかなサービスをいたします。
- ・担当者制・予約制のため、ゆつくり相談できます。
- ・ご希望に近い求人情報を提供します。
- ・再就職に必要なパソコンや介護の職業訓練をあつせんします
- ・履歴書や職務経歴書の書き方をサポートします。

- ・適性検査や興味検査などにより、適職を理解することもできます。
- ・どんな小さな事でも構いません。気軽に相談ください。

### ▼問い合わせ・申込先:

ハローワーク球磨(球磨公共職業安定所) 求人・専門援助部門  
096612418609



## 明治150年施策

平成30年(2018年)は、明治元年(1868年)から起算して満150年に当たります。政府では「明治150年」関連施策として、地方公共団体や民間も含めて、全国で様々な取組みを進めています。詳しくはHPをご覧ください。  
<http://www.kantei.go.jp/jp/sin/gi/meiji150/portal/>



国税だより

法定調書の提出は

1月31日まで

給料や報酬、不動産の使用料等を支払った場合には、源泉徴収票や支払調書などの法定調書（一部を除く。）を一年間分取りまとめて、税務署に提出することになっていきます。

平成29年中の支払に係る法定調書の提出は、平成30年1月31日（水）までとなっています。期限までに提出してください。

なお、マイナンバー制度の導入により、法定調書の提出義務者（支払者）は、原則として金銭等の支払を受ける方及び支払者等のマイナンバー又は法人番号を記載する必要があります。

また、法定調書の種類ごとに、前々年に提出すべきであった法定調書の枚数が1,000枚以上である法定調書については、e-Tax又は光ディスク等による提出が義務化されています。

提出について、ご不明な点は国税庁HP (www.nta.go.jp

又は**国税庁 検索**をご覧ください。

▼問い合わせ先：

人吉税務署

☎096612312311

※自動音声案内



源泉所得税の

納期の特例と納付

給与などの支払の際に徴収した所得税等は、給与などを支払った月の翌月10日までに納付しなければなりません。納付すべき税額がない場合でも、翌月10日までに納付書（給与所得・退職所得の所得税徴収高計算書）を税務署にご提出いただく必要があります（e-Tax（国税電子申告・納税システム）の利用又は郵送等による提出もできます）。

また、給与の支給人員が常時10人未満の事業所では、一定の手続きをすることで、源泉所得税等の納付を年2回で済ませることができる源泉所得税等の「納期の特例」制度があります。

具体的には、次表をご参照ください。

源泉所得税等の納期の特例制度	
源泉所得税等の区分	納付期限
1～6月に源泉徴収した所得税及び復興特別所得税	7月10日
7～12月に源泉徴収した所得税及び復興特別所得税	翌年1月20日

源泉所得税等のことをご不明な点は、国税庁HP (www.nta.go.jp) 又は**国税庁 検索**をご覧ください。

▼問い合わせ先：人吉税務署  
☎096612312311  
※自動音声案内

放送大学4月生募集のお知らせ

放送大学は、平成30年度第1学期の学生を募集しています。心理学・福祉・経済・歴史・文学・情報・自然科学など、

約300の幅広い授業科目があり、1科目から学べます。全国に学習センターが設置されており、サークル活動などの交流も行われています。資料を無料で差し上げています。

▼問い合わせ先：  
放送大学熊本学習センター  
☎096134110860

国の教育ローンのご案内

国の教育ローンは、高校や大学などへの入学や在学中に必要な資金を支援する公的融資制度です。詳しくは、教育ローンコールセンター又は、支店の窓口までお問い合わせください。

▼融資限度額：  
学生・生徒1人につき350万円以内  
▼返済期間：15年以内  
▼金利：年1.76%（固定金利）  
▼使いみち：  
学校納付金、受験にかかった費用、住居費など

▼問い合わせ先：  
教育ローンコールセンター  
☎057010081656  
日本政策金融公庫八代支店  
☎096513215195

募集

「生物多様性くまもとセミナー」受講者募集！

生物多様性に関する学習や野鳥観察を通して、自然環境の保全について考える講座です。募集案内や申し込み書は、県HPに掲載しています。

▼開催日：  
平成30年1月20日（土）  
午前10時～午後12時30分  
会場：荒尾干潟、  
荒尾市中央公民館

▼募集締切：12月22日（金）

▼問い合わせ先：  
県自然保護課  
☎096133312274

■提出先：〒86218570  
（住所記載不要）  
県庁自然保護課  
自然環境講座係

くまもとハートウィークフォーラム 観覧者募集

お笑いコンビ「松本ハウス」のお二人に、統合失調症に関する体験談などについて、笑いを交えながら分かりやすくお話しいただきます。

この機会に、障がいのある方への理解を広げませんか。

▼日時：12月9日(土)  
午後1時～

▼会場：県庁地下大会議室

▼観覧料：無料

(事前申込みが必要)

▼問い合わせ先：

くまもとハートウィーク

実行委員会

(県障がい者支援課内)

☎096-3333-2235

「くまもと復興応援ナース」  
を募集しています！

県は、被災地である阿蘇地域の医療機関に1カ月～1年程度勤務していただく保健師や助産師、看護師、准看護師を募集しています。

応援ナースの勤務先選定や就労後の相談には、専任のコーディネーターが対応し、就労された方には、温泉利用券などの特典もあります。

阿蘇地域の医療の復興に、あなたの力を貸してください。

▼問い合わせ先：

県ナースセンター

☎096-3365-7660

▼くまもと復興応援ナース」  
で検索



編集後記

あっという間に秋が過ぎ去り、いよいよ冬の到来です。秋は行事がとても多く、土日は写真の撮影で予定がびっしり！秋の終わりを迎えるころに、ホッと一安心しているのは私だけでしょうか…。

今月号の表紙を見て、「いつもと違う！」と感じられた方も多はずです。今月号は毎年恒例となっている、球磨郡人吉市で取り組んだ合同特集を掲載しています。今年のテーマは移住定住です。五木村移住者代表として、地域おこし協力隊の平野貴嗣さんにご協力いただきました。日頃は、ヒストリアテラス五木谷勤務と保育所・小学校でサッカーの指導をされています。今回の特集は、移住してきた方も、ずっと五木村に住んでいる方も全員見ていただきたい内容です。ぜひ、合同特集をご覧ください。

(詩歩)

譲渡会で新しい家族を見付けませんか？



県では、飼い主が見付からない犬や猫などを保護しています。ご家庭でペットを飼いたいとき、保健所や動物愛護センターに保護されている犬や猫も考えてみませんか？たくさんの犬や猫たちが家族として迎えてくれる飼い主さんを待っています。ご自身の飼育環境や家族構成などを動物の気質や性質と照らし合わせて、自分に合った1頭を見付けてみませんか？

▼問い合わせ先：県庁健康危機管理課  
☎096-3333-2248



自然が奏でる子守唄の里 五木村

主な行事等の詳細は五木村ホームページまで！  
<http://www.vill.itsuki.lg.jp>

村税（保険料）の納付は、口座振替が便利です



12月の行事予定

日 Sun	月 Mon	火 Tue	水 Wed	木 Thu	金 Fri	土 Sat
					1	2 社協 チャリティー 演芸会
3	4 無料人権相談	5	6	7	8	9 保育所 おゆうぎ会
10	11	12	13	14	15 五木分校 持久走大会	16 東小学校・中学校 合同持久走大会
17 球磨一周駅伝	18	19	20	21	22 東小 五木中 五木分校 } 終業式	23 東分館 クリスマス会
24 31	25	26 区長会	27	28	29 消防団年末夜間警戒	30

# Topics



ライトアップされる宮園大イチョウ

## 色づく宮園大イチョウ

今年も県指定天然記念物の宮園の大イチョウが黄色に染まり、多くの人が村内外から見学に訪れ魅了されていました。

また、10月30日から11月26日までライトアップも行われ、昼間とは違う、一味違ったイチョウをも見ることができました。

### 人の動き (10月末現在)

	転入	転出	出生	死亡
男	0	0	1	0
女	1	2	1	0
計	1	2	2	0

(増減+1)

人口/1,132人 世帯数/507世帯

### 戸籍の窓口

※10月26日～11月22日 届出分

#### 【おめでた】

10月18日

まつだ ほのか  
松田 歩ノ花さん (雅人・美咲)頭地

#### 【おくやみ】

11月14日

橋口 マチエさん (95歳)内谷日当

